

令和3年度 基本施策評価シート

作成日 令和3年5月24日

基本施策	G3 スポーツ・レクリエーションの振興を図ります		
施策の目的 (対象と意図)	対象	意 図	
	市民が	いつでも、どこでも、いつまでもスポーツ・レクリエーションに親しんでいる。	
長崎市第四次総合計画[後期基本計画] 基本施策掲載ページ			226ページ ~ 227ページ
基本施策主管課名	スポーツ振興課	所属長名	井 克史
関係課名	中央総合事務所地域整備1課、中央総合事務所地域整備2課、生涯学習課、健康教育課、健康づくり課		

基本施策の評価

Dd 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などが遅れている

判断理由

- ・基本施策の成果指標のすべてが100%未満の目標達成率で、目標達成率が95%未満の低いものもあるため「D」とする。
- ・個別施策の成果指標すべてが100%未満の目標達成率で、目標達成率が95%未満の低いものもあるため「d」とする。

【評価判断に至った成果・効果及び問題点・その要因】

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため各種スポーツイベントが中止となり参加者数は減少している。このような中であるが、課題としては、効果的な周知方法を検討する必要がある。
- (2) V・ファーレン長崎のホームゲームへの無料招待に多くの小中学生の応募があり、トップレベルの競技を間近で見える機会を提供でき、「みるスポーツ」を通してスポーツへの関心を高めるきっかけをつくることができた。
- (3) 国体に出場する県選手団における長崎市出身者の割合が減少し、全国での好成績につながっていない。
- (4) 多くの市民に市営体育施設や学校体育施設などスポーツをする場所を提供できているが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う施設の休館の影響により利用者数は目標値を下回った。

成果指標

※「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標

指標名	基準値 (時期)	区分	H29	H30	R元	R2	R3
運動・スポーツ実施率 (週に1日以上実施)	37.6% (26年度)	↑ 目標値	51.3	55.9	60.4	65.0	65.0
		実績値	34.7	36.2	38.5	42.6	
		達成率	67.6%	64.8%	63.7%	65.5%	
市営スポーツ施設の 利用者数	2,583,480人 (26年度)	↑ 目標値	2,717,000	2,763,000	2,810,000	2,860,000	2,860,000
		実績値	2,519,983	2,602,788	2,261,835	1,829,517	
		達成率	92.7%	94.2%	80.5%	64.0%	

今後の取組方針

- (1) 市民が気軽にスポーツに親しむことができるよう、市民参加のスポーツイベントなどの情報提供を効果的に行う。
- (2) 「東京2020オリンピック・パラリンピック」のキャンプ実施国の選手を全市民でもてなし、応援する機運を醸成する。
- (3) V・ファーレン長崎に加え、来シーズンからB3リーグに参入する長崎ヴェルカのホームゲームへの招待事業を実施し、「みるスポーツ」を通してスポーツへの関心を高めるきっかけをつくる。
- (4) 利用者が少ない平日昼間の利用促進を図るため、平日昼間の施設の空き状況の周知や平日昼間に参加可能な市民を対象とした事業実施など、競技団体や指定管理者との連携して取り組む。
- (5) 競技団体と連携して、競技力向上対策事業事業を実施することで、競技者の競技力向上に努めるとともに、継続してジュニア選手の強化を図る。
- (6) 長崎ががんばらんば国体で育った優秀な指導者の地元への定着について、競技団体と連携して取り組む。
- (7) コロナ禍においても、気軽にスポーツに親しむことができるよう市のホームページで自宅等のできる運動の動画等を周知する。
- (8) 長崎×若者プロジェクトで掲げられている、ニュースポーツなどの若者が楽しむことができる場の整備に向け、関係部局との連携を図る。
- (9) 利用者が快適にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設の計画的な改修を行うとともに、長崎県が計画を進めている長崎南北幹線道路の整備に伴うスポーツ施設の再配置等について、競技団体からの意見聴取や関係部局との調整を行う。

二次評価(施策評価会議による評価)

- 基本施策の評価「Dd」については、所管評価のとおり。
- (G3-1)vファーレンとの交流事業等についても記載してはどうか。
- (G3-1)南北幹線道路による松山の運動施設の整備などハード面で課題があれば記載する必要があるのではないか。
- 令和2年度における成果の数値が全体的に落ちているのは、コロナの影響により体育館等の施設を閉めざるを得なかったことが一因になっていると思われるので、この理由を記載してはどうか。
- 長崎市の重点プロジェクトにおいて、ニュースポーツの振興が掲げられているので、連携を図っていくこと。

令和3年度 個別施策評価シート

個別施策	G3-1 スポーツ・レクリエーションを普及促進します		
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	市民が	日頃から自分に適したスポーツやレクリエーションに親しんでいる。	
個別施策主管課名	スポーツ振興課	所属長名	井 克史

令和2年度の取組概要

- ①スポーツイベント等の開催
- ・市民体育・レクリエーション祭(10月4日～11月8日)のスポーツイベントを開催した。
 - ・V・ファーレン長崎のホームゲームに市内の小中学生とその保護者1,552人を無料招待し、県内唯一のプロチームの試合を間近で見る機会を提供することで、「みるスポーツ」を通してスポーツへの関心を高めるきっかけをつくることができた。
 - ・健康教室において、ノルディックウォーキング教室を14回開催し、349人の市民が参加した。【F7-1から再掲】
 - ・定員を設けたり、予約制にするなど、新型コロナ感染対策に留意しながら実施している。【F7-1から再掲】
 - ・健康づくりのイベント(健康教育)としての開催だけでなく、健康相談の中の運動として活用している。【F7-1から再掲】
- ※ノルディックウォーキング:2本のポールを使って行うウォーキング。上半身も使うため運動効果の高い種目である。
- ・ラジオ体操を通して健康づくりの普及・啓発を行うため、新型コロナウイルス感染対策に留意し、各々の地域に合ったラジオ体操を推進した。(コロナ禍の影響もあり、地域一斉で行うラジオ体操は、実施していないところが多かった。)【F7-1から再掲】
 - ・夏休みなどに実施を希望される自治会(子供会など)に対して、感染対策の方法を提案し、より安全に実施できるよう支援した。【F7-1から再掲】
- ②スポーツをする場所の提供
- ・延約183万人の市民に対し、市営体育施設や学校体育施設の貸出し等、スポーツを「する場所」を提供した。
 - ・学校施設のスポーツ開放を実施している長崎商業高等学校ソフトボール場の改修工事を行った。
 - ・市民総合プールの空調設備改修工事、自動火災報知設備改修工事、防火シャッター改修工事を行った。
- ※新春駅伝大会や長崎ベイサイドマラソン&ウオークなどの各種スポーツイベントについては、準備を行っていたが新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。

成果指標

※「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標

指 標 名	基準値 (時期)	区 分	H29	H30	R元	R2	R3
各種スポーツイベントへの参加者数	17,759人 (25年度)	↑ 目標値	19,200	19,600	20,000	20,400	20,400
		実績値	15,148	14,830	14,799	4,645	
		達成率	78.9%	75.7%	74.0%	22.8%	
市営体育館の利用者数	378,983人 (26年度)	↑ 目標値	388,000	391,000	394,000	397,000	397,000
		実績値	377,556	368,335	369,066	238,902	
		達成率	97.3%	94.2%	93.7%	60.2%	
学校体育施設の利用者数	557,424人 (26年度)	↑ 目標値	564,000	566,000	568,000	571,000	571,000
		実績値	471,223	568,627	520,319	446,249	
		達成率	83.6%	100.5%	91.6%	78.2%	
V・ファーレン長崎招待事業の応募件数	1,735件 (26年度)	↑ 目標値	1,751	1,759	1,767	1,775	1,775
		実績値	1,772	5,541	2,174	1,430	
		達成率	101.2%	315.0%	123.0%	80.6%	

評価(成果と効果)

取組みによる成果	5年後にめざす姿に対する効果
<p>①スポーツイベント等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、中止せざるを得ないイベントはあったものの、市民体育祭・レクリエーション祭について一部の種目が開催できた。 ・V・ファーレン長崎のホームゲームへの小中学生とその保護者の無料招待に、1,430件の応募があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベントを開催することにより、市民がスポーツに親しむことができた。 ・トップレベルの競技を間近でみる機会を提供することで、より「みるスポーツ」への関心を高めることにつながった。
<p>②スポーツをする場所の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延約183万人の市民に市営体育施設や学校体育施設を貸し出した。 ・長崎商業高等学校ソフトボール場の改修工事及び市民総合プールの空調設備改修工事等を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための施設の休館や施設利用の自粛等により施設の利用者数は減少したが、市営体育施設や学校体育施設の貸出しにより、多くの市民がスポーツに親しむことができた。 ・スポーツ施設の改修により、快適なスポーツ施設の利用につながった。

評価(問題点とその要因)

5年後にめざす姿に対する問題点	問題点の要因
<p>①スポーツイベント等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツイベントの参加者数が減少傾向にある中、新型コロナウイルスの影響により大幅に減少した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙やホームページで周知を行っているが、スポーツをするきっかけづくりにつながっていない。 ・新型コロナウイルスの影響により、イベントが開催されても参加を控える人が多い。
<p>②スポーツをする場所の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土日祝日や夜間の利用者数に比べ、平日昼間の利用者数が少ない。 ・新たな流行となっているスポーツなど、若者が楽しむことができる場の整備ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平日昼間の利用促進を図るための具体的な方策の検討が進んでいない。 ・若者のニーズに応じたスポーツの場として整備する場所や内容等の検討が進んでいない。

今後の取組方針

①スポーツイベント等の開催

- ・市民が気軽にスポーツに親しむことができる新スポーツなどの周知やそれを体験できる機会を提供するとともに、市民参加のスポーツイベントなどの情報提供を効果的に行う。
- ・「東京2020オリンピック・パラリンピック」のキャンプを通じて、「みる、支えるスポーツ」の振興を図るとともに、オリンピック、パラリンピックに向け機運を醸成する。
- ・早期のJ1復帰をめざすV・ファーレン長崎のホームゲームへの招待事業を引き続き実施することや、B3に正式参加が決定した長崎ヴェルカのホームゲームへの招待事業を新たに実施することで、「みるスポーツ」を通してスポーツへの関心を高めるきっかけをつくる。
- ・スポーツツーリズムによる地域活性化のため、各種スポーツ大会や合宿の誘致活動、相談業務、情報発信を一元的に行う窓口として、平成28年3月に設立された「長崎県スポーツコミッション」と連携し、スポーツ大会・合宿の誘致に取り組む。
- ・競技団体と連携を図りながら、競技普及活動や各種大会の創設など市民が気軽に参加できる機会を提供し、スポーツ人口の拡大につなげる。
- ・コロナ禍においても、気軽にスポーツに親しむことができるよう市のホームページで自宅等でできる運動の動画等を周知する。

②スポーツをする場所の提供

- ・利用者が少ない平日昼間の利用促進を図るため、平日昼間の施設の空き状況の周知や平日昼間に参加可能な市民を対象とした事業実施など、競技団体や指定管理者との連携して取り組む。
- ・コロナ禍においても、市営体育施設や学校体育施設を安心して利用できるよう、引き続き感染対策の徹底と利用者への周知に努める。
- ・重点プロジェクトの一つである長崎×若者プロジェクトで掲げられている、若者が楽しむことができるスポーツの場の整備に向け、関係部局との連携を図る。
- ・利用者が快適にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設の計画的な改修を行うとともに、長崎県が計画を進めている長崎南北幹線道路の整備に伴うスポーツ施設の再配置等について、競技団体からの意見聴取や関係部局との調整を行う。

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	令和元年度	令和2年度
1	(事業名) 社会体育行事開催費 【スポーツ振興課】 (事業目的) 各体育行事参加者の健康増進とスポーツ人口の底辺拡大を図る。 (事業概要) スポーツイベントの開催(レクリエーション・スポーツ教室、市民体育・レクリエーション祭、長崎ベイサイドマラソン&ウオーク、長崎新春駅伝等)	実施年度	継続	
		成果指標	各種スポーツイベントへの参加者数	
		目標値	20,000 人	20,400 人
		実績値	14,799 人	4,645 人
		達成率	74.0 %	22.8 %
		決算(見込)額	23,651,908 円	3,695,087 円
		成果指標及び目標値の説明	スポーツイベントへの参加者が増えることで、スポーツをする機会の充実が図られていると考えられるため、市主催の各種スポーツイベントへの参加者数を成果指標とした。 基準値17,759人(平成25年度)から毎年2%増とすることを目標とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	・レクリエーション・スポーツ教室: 435人 ・市民体育・レクリエーション祭: 7,522人 ・長崎ベイサイドマラソン&ウオーク: 5,496人 ・長崎新春駅伝: 1,086人 ・その他のイベント: 260人 合計: 14,799人	(取組実績)	・レクリエーション・スポーツ教室: 中止 ・市民体育・レクリエーション祭: 4,489人 ・長崎ベイサイドマラソン&ウオーク: 中止 ・長崎新春駅伝: 中止 ・その他のイベント: 156人 合計: 4,645人
	(成果・課題等)	イベント当日の悪天候等の影響で、参加人数が減少したことにより、目標人数には達しなかった。前年度と比較しても減少しており、引き続き周知活動を強化する必要がある。	(成果・課題等)	コロナウイルス感染症の影響により、イベント開催が中止したことにより参加人数が減少した。コロナ禍においても気軽にスポーツに親しむことができるしかけづくりが課題である。
2	(事業名) 小・中学校体育施設開放運営費 【スポーツ振興課】 (事業目的) 市民への社会体育の普及及びスポーツ活動の場の確保を図る。 (事業概要) 小・中学校体育館・武道場・運動場等の貸出及び管理運営を行う。	実施年度	継続	
		成果指標	小・中学校体育施設開放の利用者数	
		目標値	548,000 人	550,000 人
		実績値	503,381 人	432,762 人
		達成率	91.9 %	78.7 %
		決算(見込)額	18,177,284 円	16,050,467 円
		成果指標及び目標値の説明	施設利用者が増えることで、スポーツをする施設の充実が図られていると考えられるため、市立学校運動場及び体育館等のスポーツ解放による利用者数を成果指標とした。 基準値537,876人(平成26年度)から毎年0.4%増を目標とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	体育館: 445,244人 運動場: 18,560人 武道場: 39,467人 合計: 503,271人	(取組実績)	体育館: 388,396人 運動場: 14,025人 武道場: 30,341人 合計: 432,762人
	(成果・課題等)	利用者数は目標値に達しなかったが、市民の身近にある学校の体育施設を開放することで、気軽にスポーツをする場を提供できた。	(成果・課題等)	利用者数は目標値に達しなかったが、市民の身近にある学校の体育施設を開放することで、気軽にスポーツをする場を提供できた。コロナ禍においても、学校体育施設を安心して利用できるよう、引き続き感染対策の徹底と利用者への周知に努めていく必要がある。

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	令和元年度	令和2年度
3	<p>(事業名) 東京オリンピック・パラリンピックキャンプ誘致推進費</p> <p>【スポーツ振興課】</p> <p>(事業目的) 東京2020オリンピック・パラリンピックにおける各国選手団のキャンプを長崎市に誘致することで、世界のトップ選手とのふれあいなどを通じた国際交流を行い、地域活性化につなげるとともに、長崎市のスポーツ振興を図る。</p> <p>(事業概要) 大会開催前に実施される事前キャンプ誘致のため、各国との交渉や情報収集を行う。</p>	実施年度	平成27～令和3年度	
		成果指標	誘致活動を実施した相手国の数	
		目標値	3 カ国	3 カ国
		実績値	3 カ国	3 カ国
		達成率	100.0 %	100.0 %
		決算(見込)額	90,912 円	0 円
		成果指標及び目標値の説明	誘致活動を実施する相手国の数を成果指標とした。姉妹都市がある国のうち、市内に領事館を有する3カ国への誘致を目標とした。	
		取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎県・長崎県スポーツコミッションと連携し、誘致活動を行った。(ポルトガル、ベトナム、ラオス) ・ベトナムスポーツ総局とキャンプに係る基本合意書の調印を行った。 <p>(成果・課題等)</p> <p>オリンピック開催が1年程度延期されたことに伴い、キャンプの受入人数や期間が未定となっている。県スポーツコミッションを通じて情報共有を図り受入環境を整えていく必要がある。</p>	<p>(取組実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎県、長崎県スポーツコミッションと連携し、受入れに向けたマニュアル整備の準備活動を行った。(ポルトガル、ベトナム、ラオス) <p>(成果・課題等)</p> <p>オリンピック開催が1年程度延期されたことに伴い、キャンプの受入人数や期間が未定となっている。県スポーツコミッションを通じて情報共有を図り受入環境を整えていく必要がある。</p>

令和3年度 個別施策評価シート

個別施策	G3-2 競技スポーツを強化します		
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	市民が	競技スポーツにおいて、高い競技力を発揮している。	
個別施策主管課名	スポーツ振興課	所属長名	井 克史

令和2年度の取組概要

①競技力向上のための取組み

- ・国体競技種目のうち、20競技団体に対し、各競技団体が実施した強化事業を支援することで競技力の向上を図った。
- ・27競技団体に対して、スポーツ教室や指導者研修会等のスポーツ普及指導事業を支援することで、各種スポーツの普及・振興を図った。
- ・各競技団体が実施する強化練習、遠征試合、優秀チームや指導者招聘などのジュニア強化事業を支援することでジュニアスポーツの競技力向上を図った(24競技団体、実施回数365回、参加児童生徒10,885人)。
- ・全国大会等に出場する小・中学生及び高校生に対して、大会出場を称えるとともに、ジュニア層の競技力向上につなげるため、奨励金を交付した(交付件数:87件)。

成果指標

※「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標

指 標 名	基準値 (時期)	区 分	H29	H30	R元	R2	R3
国民体育大会に出場する長崎県選手団における長崎市出身者の割合	33.9% (26年度)	↑ 目標値	36.0	36.7	37.4	38.2	38.2
		実績値	32.2	34.7	33.8	0	
		達成率	89.4%	94.6%	90.4%	0.0%	
スポーツ表彰の受賞件数	114件 (25年度)	↑ 目標値	132	137	142	147	147
		実績値	93	55	52	15	
		達成率	70.5%	40.1%	36.6%	10.2%	
【補助指標】 小中学生の国際・全国・九州大会出場に係る補助対象件数(令和2年度は奨励金)	253件 (26年度)	↑ 目標値	280	290	300	310	310
		実績値	266	245	193	64	
		達成率	95.0%	84.5%	64.3%	20.6%	

評価(成果と効果)

取組みによる成果	5年後にめざす姿に対する効果
<p>①競技力向上のための取組み</p> <p>・各競技団体が実施するジュニア強化事業については、コロナ禍の中ではあったが、支援することができた。</p>	<p>・令和元年度において、長崎県選手団全体の順位は41位から26位へ上昇した。(令和2年度国体は中止)</p> <p>・令和2年度は国民体育大会が中止となったが、各競技団体による強化事業により、競技力の向上が図られている。</p>

評価(問題点とその要因)

5年後にめざす姿に対する問題点	問題点の要因
<p>①競技力向上のための取組み</p> <ul style="list-style-type: none">・国体の県代表となるまでの競技力は高まったものの、全国での好成績になかなかつながらっていない。・小中学生の国際・全国・九州大会出場に係る補助対象件数が目標値を下回った。	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症の影響により、国体をはじめ多くの大会が中止となった。・競技力向上の取組みは、すぐに効果が表れないものもあるため。

今後の取組方針

<p>①競技力向上のための取組み</p> <ul style="list-style-type: none">・今後も競技団体と連携して、競技力向上対策事業を実施することで、競技者の競技力向上に努める。また、競技力向上対策が、国体までの一過性のもとならないよう、継続してジュニア選手の強化を図る。・指導者の資質向上を図るため、民間指導者の発掘や指導者講習会を行う。・長崎がんばらんば国体における競技役員等の養成事業により、競技団体の競技運営能力が向上していることを踏まえ、今後も質の高い競技会を開催しながら、選手の育成・強化に取り組む。・長崎がんばらんば国体で育った優秀な指導者の地元への定着について、競技団体と連携して取り組む。・スポーツ少年団等の部員募集を支援するとともに、スポーツ交歓会の開催等を通じて部員相互の親睦を図るなど、子どもたちが競技を続けられる環境づくりを行う。
--

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	令和元年度	令和2年度
1	(事業名) ジュニアスポーツ競技力向上対策費補助金 【スポーツ振興課】 (事業目的) 全国大会等での本市ジュニア選手の活躍を増やし、底辺の拡大も図る。 (事業概要) 市体育協会加盟団体がジュニア層の競技力向上を図る強化合同練習、遠征試合、優秀チーム・指導者招致事業を行うための経費の一部を補助する。	実施年度	継続	
		成果指標	国体長崎県選手団における長崎市出身選手の割合	
		目標値	37.4 %	38.2 %
		実績値	33.8 %	0.0 %
		達成率	90.4 %	0.0 %
		決算(見込)額	15,462,904 円	10,410,010 円
		成果指標及び目標値の説明	国体長崎県選手団における長崎市出身者の割合が増えることで、競技者の競技力が向上したと考えられるため、国民体育大会に出場する県選手団における市出身者の割合を成果指標とした。 基準値33.9%(平成26年度)から前年度比2.0%の増とすることを目標とした。	
		取組実績、成果・課題等	(取組実績) 交付団体数:32競技団体 補助対象事業:454回 事業参加者数:19,464人 (成果・課題等) 目標値に達していないが、強化事業を行う団体は増加した。 国体での長崎県選手団全体の順位は41位から26位となり、競技レベルの向上が図られている。	(取組実績) 交付団体数:24競技団体 補助対象事業:365回 事業参加者数:10,885人 (成果・課題等) コロナウイルス感染症の影響により、交付団体数及び補助対象事業数、参加者数すべてが減少した。